

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

2-③

施策

スポーツ・レクリエーション活動を推進する

担当部局

文化産業局, 保健福祉局

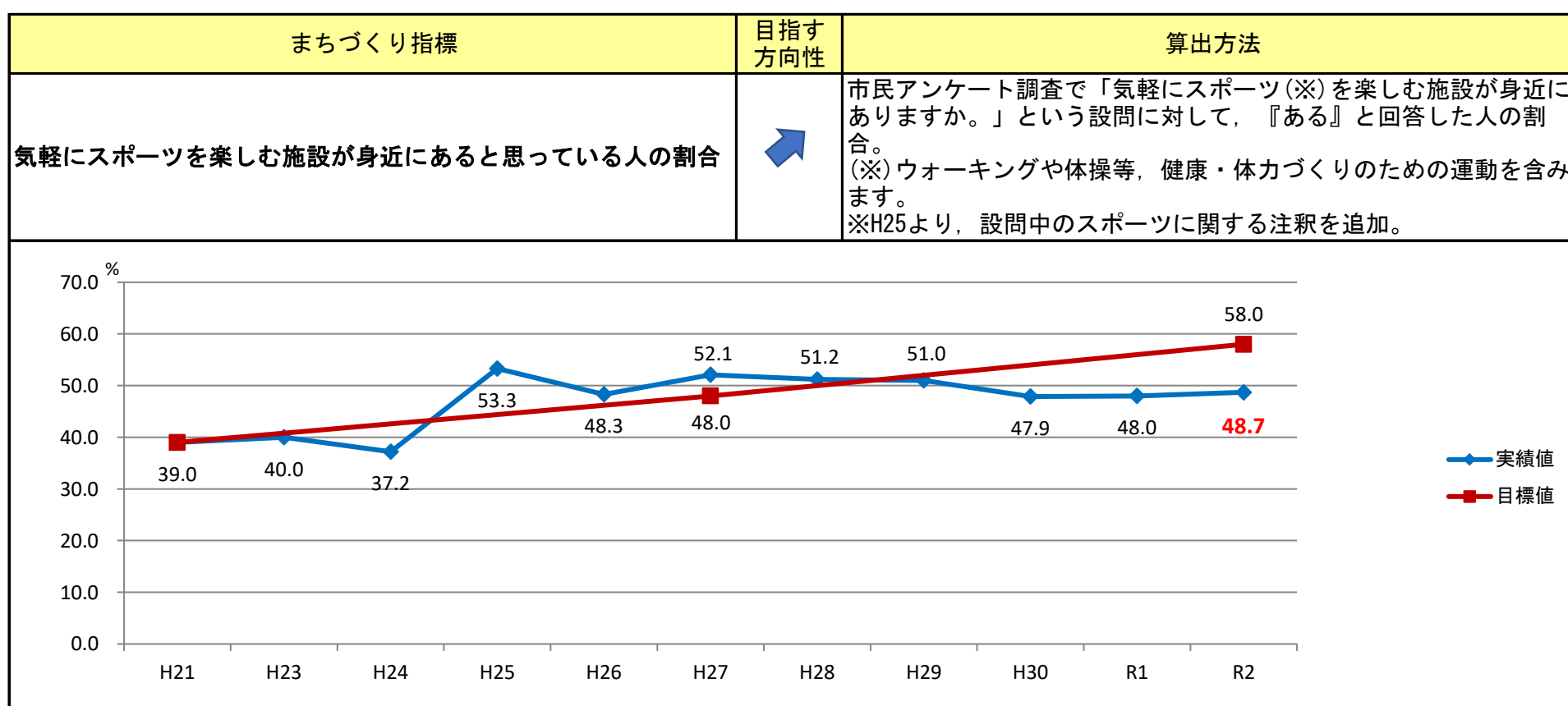
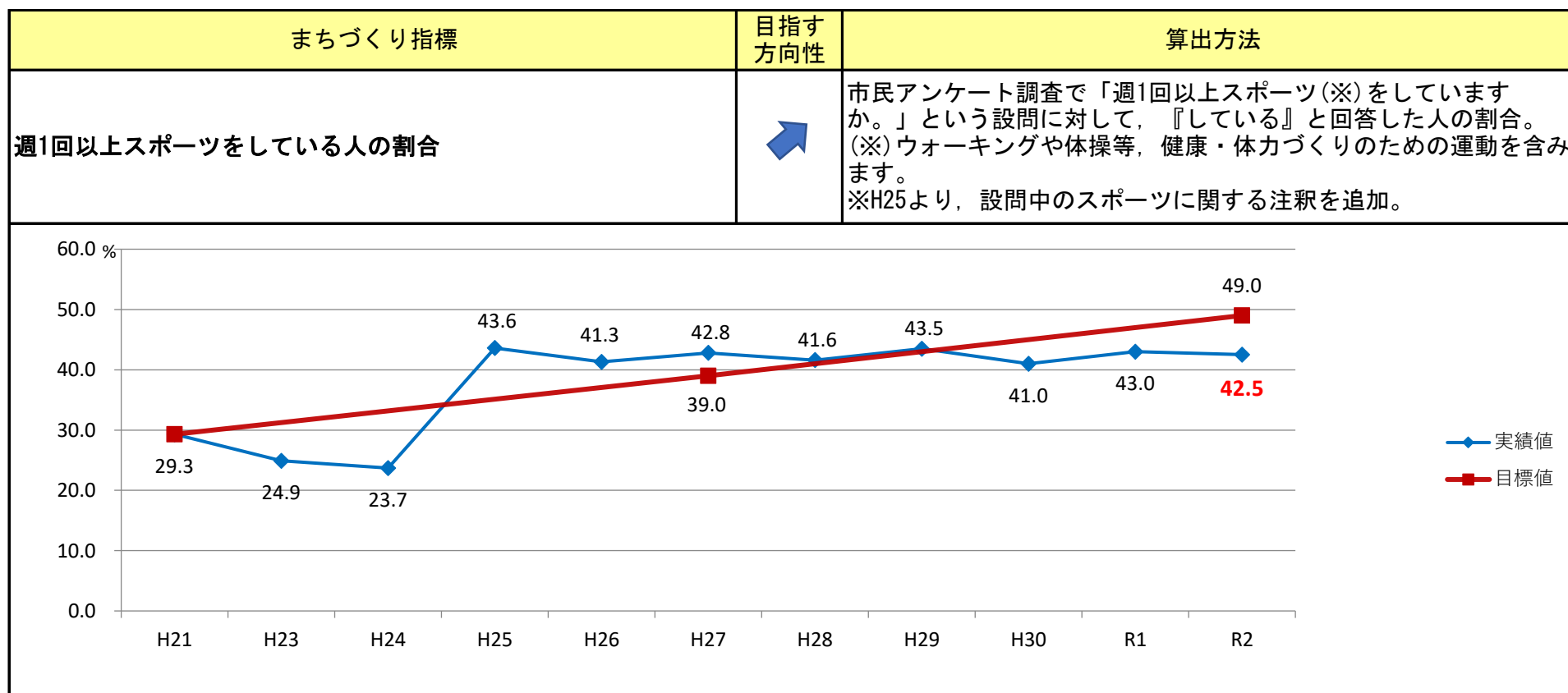


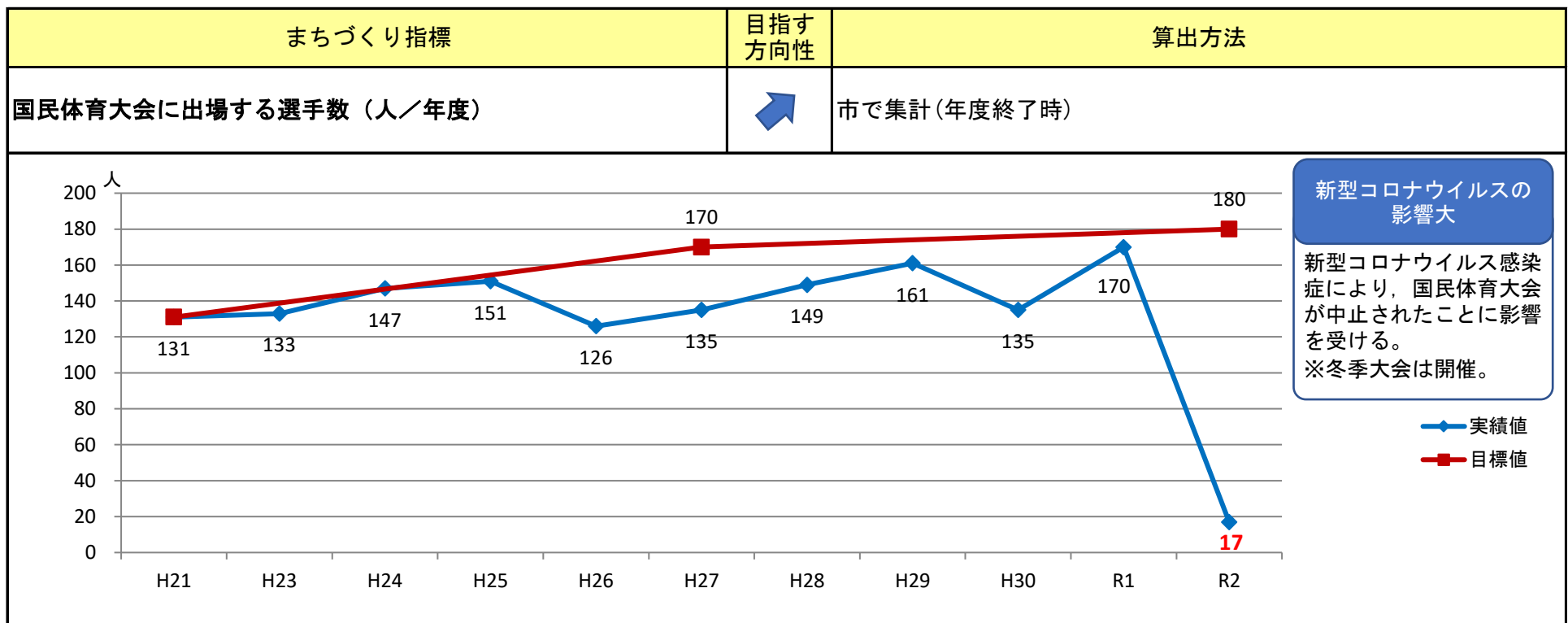
【快 適】 めざまちの姿 だれもがどこに住んでいてもいつでも気軽にスポーツを楽しむことができる

市の基本方針

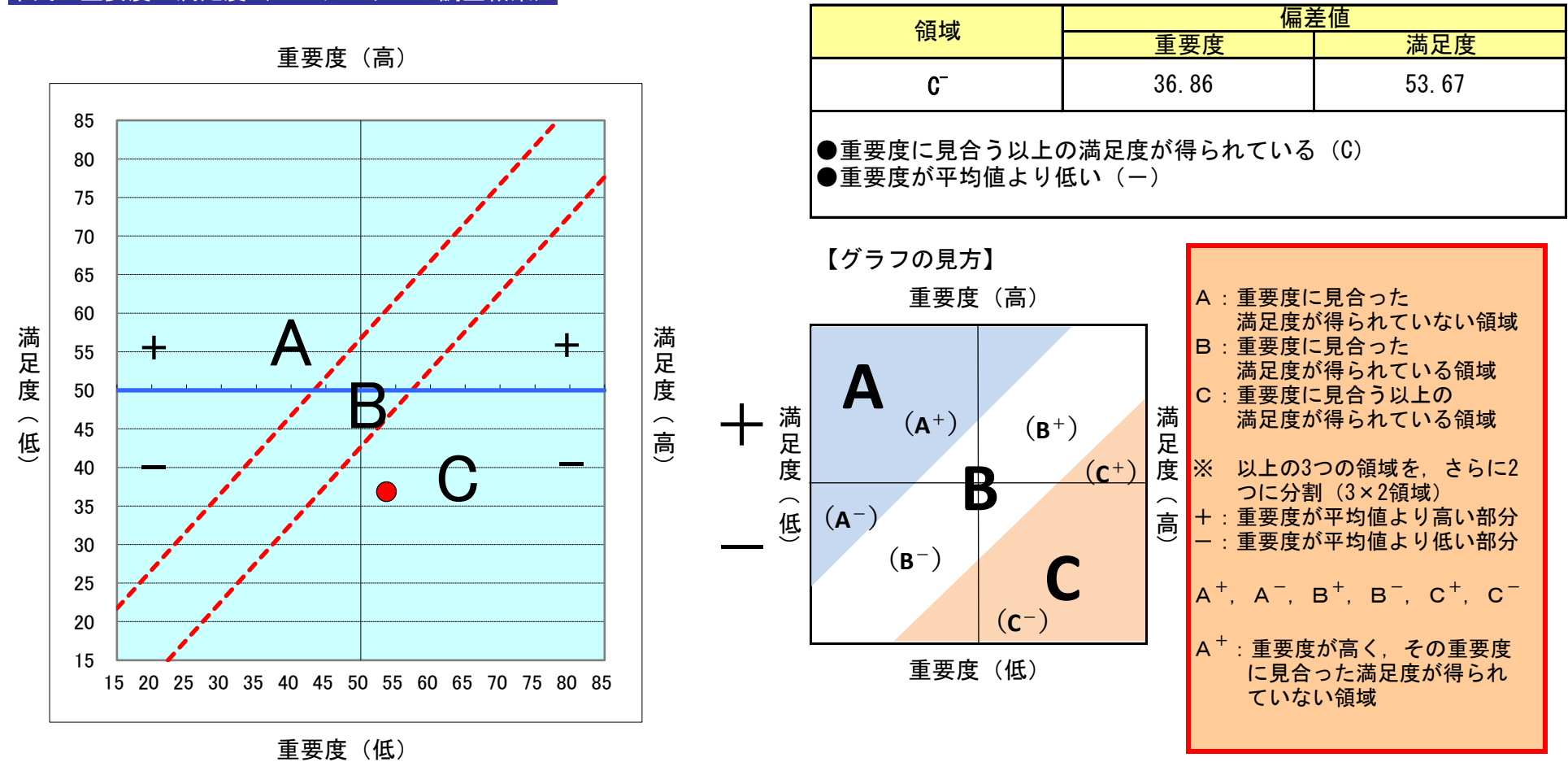
- スポーツを「する」ことだけでなく、「みる」ことや「支える」ことを通して、市民一人一人が、それぞれの目的や年齢、体力、技術の違いにかかわらず、思い思いに気軽に自分にあったスポーツやレクリエーションに主体的に親しむための環境を充実します。
- 老朽化が進んだスポーツ施設については、計画的な修繕、改修に取り組み、施設機能の維持・向上を図り、より安全な施設づくりに努めるとともに、身近なスポーツ施設である学校体育施設の有効活用や多目的運動場、公園、子ども広場など、今ある施設や資源の有効利用を推進します。
- 市民が身近に興味をもち、スポーツに親しむことができるよう、どんな人たちが、どんな情報を求めているのか、本市のスポーツ情報を一元的に集約して整理し、提供するための体制整備など、情報提供サービスの充実を図ります。
- スポーツ医・科学を取り入れたトレーニングなど、選手や指導者を総合的にサポートする体制を充実します。
- 多様化する市民のスポーツニーズにこたえるため、地域における市民の自主的・自発的なスポーツ活動を支援する体制づくりを進め、その支援に取り組みます。

数値目標





市民の重要度・満足度（R3.5アンケート調査結果）



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的（Ⅰ）／令和2年度の主な実績（Ⅱ）／今後の方向性（Ⅲ）	R2年度決算額（千円）
	スポーツイベント実施事業	（Ⅰ）市民がスポーツに親しみ、選手と地域の交流、青少年の競技力強化を図る。 （Ⅱ）「第15回倉敷市民スポーツフェスティバル」を開催し、サッカー教室や協会専門部競技会等に、延べ5,220人が参加した。桃太郎カップ、倉敷国際少年野球大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 （Ⅲ）新型コロナウイルス感染症対策を行った計画を立てる等、事業の見直しを行う。	1,700
創	くらしき健康応援事業	（Ⅰ）健康無関心層の方も含め、健康づくりに関心を持ち、健康行動の実践のきっかけとなることを目的とする。 （Ⅱ）くらしき健康応援団講座（25回424人）、くらしき健康応援ガイドの発行（年2回各3,000部）、測定体験（33回1,412人）、くらしき健康ポイント事業（WEB・アプリ参加者延4,160人） （Ⅲ）市民の健康意識の向上に向け、内容の見直しを行いながら継続して実施する。	7,229
創	高梁川流域健康スポーツ推進事業	（Ⅰ）高梁川流域圏の市町で講演会を開催し、圏域内のスポーツ実施率向上を図る。 （Ⅱ）流域内の大学と連携し、市内2地区で講演会を開催した。総社市は47人（高梁市4人、総社市15人、倉敷市28人）、浅口市は45人（総社市1人、倉敷市19人、浅口市20人、笠岡市5人）が参加した。 （Ⅲ）対象者や教室内容等を見直しつつ、継続して実施する。	560

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	プロ野球誘致・支援事業	(Ⅰ) プロスポーツを見ることで、市民のスポーツへの関心を高める。 (Ⅱ) 令和元年度まで9年連続で楽天イーグルス秋季キャンプが実施されていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりプロ野球の日程が大幅に変更となり、秋季キャンプは実施されなかった。また、プロ野球公式戦も中止となった。 (Ⅲ) 引き続き秋季キャンプ等が実施されるよう、誘致活動を継続して実施する。	26
創	倉敷国際トライアスロン大会実施事業	(Ⅰ) 「倉敷の魅力」を全国に発信するとともに、地域の活性化を図る。 (Ⅱ) 令和2年9月13日に実施予定であった第10回大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 (Ⅲ) コロナ禍で開催している他大会の事例を参考に、新型コロナウイルス感染症対策を行った大会運営の方法を検討するなど、事業の見直しを行う。	169
創	瀬戸内倉敷ツーデーマーチ実施事業	(Ⅰ) ウォーキングを通じ運動習慣の定着を図り参加者へ本市の魅力発信する。 (Ⅱ) 令和2年度に実施予定であった第34回大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 (Ⅲ) 全国各地から多くの参加者が集まるイベントであるため、コロナ禍での開催について、開催の可否や実施方法など慎重に検討を行う。	2,124
都	運動公園再生整備推進事業	(Ⅰ) 「倉敷市運動公園利活用基本構想」に基づき、運動公園のリニューアルを行う。 (Ⅱ) 令和2年度は、人工芝グラウンドの防球ネット及び本部棟の新設を実施した。 (Ⅲ) 令和3年度は、人工芝グラウンドの人工芝及び外周園路の舗装整備を実施する。	407,947
	スポーツ情報発信事業	(Ⅰ) 市民がスポーツを身近に感じられるよう、スポーツ情報の一元化を図り、発信する。 (Ⅱ) より使いやすく、スポーツライフに役立つ情報を容易に取得できるよう、情報の選別・整理をはじめ、時代のニーズに合った仕様にリニューアルを行った。 (Ⅲ) 今後も閲覧数の増加に努め、本市のスポーツ情報の発信を継続して実施する。	389
	スポーツ選手強化事業	(Ⅰ) 国民体育大会等への出場を目指すジュニア選手の育成を行う。 (Ⅱ) 倉敷市スポーツ振興協会専門部による、ジュニア選手の競技力向上を図る「ジュニアスポーツ強化事業」に補助金を交付した。 また、スポーツ医・科学の見地からジュニア強化選手の支援を行う「スポーツ医・科学支援事業」を実施した。 (Ⅲ) 支援内容等の見直しを行いながら、継続して実施する。	5,276
創	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 ニュージーランド ホストタウン事業・事前キャンプ実施事業	(Ⅰ) 大会の開催を通じ、市内のスポーツ振興や国際交流の更なる推進を図る。 (Ⅱ) 令和2年12月23日～30日に水球女子日本代表の東京2020オリンピック事前キャンプを実施した。 ホストタウン事業は、SNSやオンライン交流、情報発信により、大会の機運醸成と国際交流の促進を図った。 (Ⅲ) 令和3年に延期となった大会の開催に向け、引き続きウエイトリフティング競技や水球競技の事前キャンプの誘致を行っていく。ホストタウン事業は大会終了後も交流を継続する。	4,835
創	国際おもてなし講座実施事業	(Ⅰ) 市民や事業者を対象に英語対応力の向上とおもてなし機運の醸成を目的とした講座を開催する。 (Ⅱ) 新型コロナウイルス感染症拡大により規模を縮小し、市民向け講座を7回開催した。(参加者のべ77人) 美観地区など現地へも出向き、より実践的な英語講座を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	295